

【管理運営状況公表様式】

平成20年度 青森県男女共同参画センター及び青森県子ども
家庭支援センター（アピオあおもり）の管理運営状況

県所管課	環境生活部青少年・男女共同参画課 健康福祉部こどもみらい課
指定管理者	アスタクグループ 代表者である構成員 株式会社 阿部重組 芝管工 株式会社 株式会社 テレコム青森
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

1 管理業務の実施状況

(1) 青森県男女共同参画センター

業務区分	概要
相談事業	女性問題解決の視点から、女性が直面している問題を受け止め、解決に向けた支援を行った。また、ミニ講座等の開催を通し、能動的な相談事業に取り組んだ。
オープンカレッジ	広く県民に男女共同参画の意義をわかりやすい内容で普及啓発するために、市町村との共催により、アピオあおもりを含め県内市町村で開催した。
情報誌発行事業	男女共同参画の視点に立った情報誌を発行した。編集には県内各地区から地域性も考慮してスタッフを募集し、県民参加型の情報紙とした。
情報事業	情報ライブラリーは、女性情報を収集、蓄積、提供する図書館であり、男女共同参画社会づくりのリソースセンターの役割を果たした。 また、ホームページを随時更新し、最新の情報を提供した。

(2) 青森県子ども家庭支援センター

業務区分	概要
情報提供事業	ホームページの運営等により、子どもと家庭に関する情報提供を行った。また、子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりの推進のために、子育て支援に関する啓発情報誌を発行した。
活動支援事業	地域における総合的な子育て支援の推進を図るため、県内の地域子育て支援センター職員等を対象に子育て支援の基盤づくり・連携の強化に重点に置いた研修、実技向上のための講習会を開催した。また、子育て団体の学習会等に講師を派遣し、団体活動の活性化につなげた。
総合相談事業	子育ての悩みや子どもの問題など、子どもと家庭に関する様々な相談を電話及び面接で受け付け、解決に向けた支援を行った。
学習・体験事業	児童図書室では、乳幼児から小学校低学年を対象とした児童図書やビデオ等の貸出を行った。また、子育てに生かせるよう、様々な学習・体験活動を開催し、親子のスキンシップを図った。

業務区分	概 要
普及啓発事業	社会全体で子育てすることの重要性を学ぶ機会を設け、子育て関連団体と協働し、交流とネットワークづくりを推進した。
調査研究事業	県内の子育てサークルや子育て支援団体の所在や活動状況を調査し、リストを作成し配布した。

2 管理施設の利用状況

(1) 青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター共通

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
貸館利用者数 (人)	H 1 8		83,354		96.1%
	H 1 9		70,875		85.0%
	H 2 0	85,000	84,324	99.2%	119.0%
	H 2 1	85,000			
施設使用料収入 (円)	H 1 8	4,565,000	6,408,020	140.4%	115.5%
	H 1 9	4,897,000	6,647,465	135.7%	103.7%
	H 2 0	6,570,000	6,298,725	95.9%	94.8%
	H 2 1	6,570,000			

(2) 青森県男女共同参画センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
情報ライブラリー 貸出件数 (件)	H 1 8		10,881		102.3%
	H 1 9		11,336		104.2%
	H 2 0	12,000	11,785	98.2%	104.0%
	H 2 1	13,000			
オープンカレッジ 参加者数 (人)	H 1 8		773		49.2%
	H 1 9		998		129.1%
	H 2 0	1,000	1,898	189.8%	190.2%
	H 2 1	募集定員の95%			
情報誌発行数(部) (H21 から情報誌 読者アンケート満 足度)	H 1 8	7,000	7,000	100.0%	100.0%
	H 1 9	7,000	7,000	100.0%	100.0%
	H 2 0	7,000	7,000	100.0%	100.0%
	H 2 1	5段階評価の4			

(3) 青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
情報誌発行数(部)	H 1 8	12,000	12,000	100.0%	100.0%
	H 1 9	12,000	12,000	100.0%	100.0%
	H 2 0	12,000	12,000	100.0%	100.0%
	H 2 1	活かせる・ためになった 90%			
手作りおもちゃ講 習会参加者 (人)	H 1 8		79		89.8%
	H 1 9		70		88.6%
	H 2 0	90	91	101.1%	130.0%
	H 2 1	100			

団体活動支援事業 (件)	H18	20	23	115.0%	100.0%
	H19	20	25	125.0%	108.7%
	H20	25	20	80.0%	80.0%
	H21	応募団体 25			
親子すくすくスキ ンシップ参加者 (人)	H18		858		207.2%
	H19		669		78.0%
	H20	740	485	65.5%	72.5%
	H21	募集定員 95%			
利用者カード発行 数 (件)	H18		122		116.2%
	H19		182		149.2%
	H20	170	179	105.3%	98.4%
	H21	185			
プレイルーム利用 者数 (人)	H18		13,887		95.2%
	H19		13,903		100.1%
	H20	14,000	11,580	82.7%	83.3%
	H21	14,000			
子育て広場参加者 (人)	H18		194		138.6%
	H19		294		151.5%
	H20	230	1,500	652.2%	510.2%
	H21	参加者のうち事業スタート 50%			

【増減理由】

- ・貸館利用者数の増加について
貸館件数と共に貸館利用者数が増加しています。
- ・施設使用料収入の減少について
貸館件数及び貸館利用者数は増加しているが、使用時間数の減少により施設使用料収入が減少しています。
- ・オープンカレッジ参加者数について
本事業は6回の開催を基本とし、参加者は概ね1会場につき150人程度であるが、平成20年度は著名な講師による講演があったことから、参加者数が大幅に増加した。
- ・子育て広場参加者
平成20年度グッドトイ展を実施し、イベント広場におもちゃの展示をしたところ、親子連れでの参加者が大幅に増加しました。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	施設利用者アンケートの実施、運営サービスの向上などを目的とした「アピオあおもり運営委員会」の開催などにより、サービスの維持・向上に向けた取組みが適切になされている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	企業訪問や月1回の「アピオあおもりかわら版」など広報誌やPR誌の発行により、貸館の利用促進や事業への参加促進に向けた取組みが適切になされている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	建物・設備の適正な管理や清掃業務の適正な実施などにより、安全性が確保され、利用者が快適に利用できるような状態が確保されている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	A	A	緊急時の対応マニュアルの作成、AEDの設置により、緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	A	A	経費節減のための努力がなされ、利用料金収入の目標値が概ね達成されており、指定管理料が適正に執行されている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	A	A	成果目標が概ね達成されており、成果目標を上回る利用指標があるなど、成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっている。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	A	A	個人情報保護担当者の設置や情報公開実施要綱の制定など、個人情報の保護に対する体制の構築・取組みが適切に行われている。
総合評価	A	A	サービスの維持・向上、利用促進に向けた取組みが行われ、施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われている等、管理業務について適切に行われており、優れた実績をあげている。

○評価基準

- A (優) : 適正であり、優れた実績をあげている
- B (良) : 適正である
- C (可) : 概ね適正であるが、一部改善を要する
- D (不可) : 改善や更なる取組が必要